

# 受験校決定。二次対策授業本格開始。

文責 学校長



## ～共通テストの平均点上がるも、科目によっては得点調整も～

先週実施された「大学入学共通テスト」の自己採点のデータリサーチの結果が公表されました。ベネッセコーポレーションと駿台予備校による「データネット」は1月20日、予想平均点（最終集計）を、文系5教科8科目（900点満点）は532点・理系5教科7科目（900点満点）は551点で、2022年度の平均点より文系+24点、理系+38点となっています。集計されたデータをもとに20日（金）に最終進路検討会を行いました。

### 1 3年生は「進路講演会」で受験本番に向け決意を新たにしました。

1月18日（水）の3限目にベネッセコーポレーション顧問（元長崎西高等学校校長）の田川祐治先生に「執念で合格を勝ち取ろう」と題して講演を行っていただきました。この学年は今回で3回目の講演となりました。「出願校決定のために」・「中期・後期までもえるぞ」・「面接・小論文対策」・「経験した人の言葉から」について話していただき、最後は先生の熱いエールを贈っていただきました。3年生は田川スピリッツを全身に注入され、決意と覚悟を新たに国公立大学二次試験・私大入試に向けて受験対策を再スタートさせました。



### 2 1・2年生は「探究学習発表会」を行いました。

1月20日（木）に1・2年生の「探究学習発表会」を行いました。発表者は1・2年それぞれ多目的教室と地歴教室から各教室への配信の形で実施しました。一年間取り組んできたテーマについて、各クラスでの発表会を経て、各クラスで選ばれた優秀グループがそれぞれの学年全員に対してパワーポイントの資料を用いてプレゼンを行いました。全員の評価で選ばれた優秀グループが今週末曜日に行われる「中高合同探究発表会」で発表します。



### 3 オランダの高校生とのオンライン交流会を実施しました。

1月19日（木）・20日（金）の放課後に、希望者を対象にオランダのライナトールカレッジの生徒とのオンライン交流会を実施しました。1日目が「互いの国を紹介する」2日目が「環境問題」をテーマにグループワークを行い、相互の国の理解を深め、環境問題を話題として意見交換をし、交流を深めました。互いの顔が見えるカメラ機能での交流に加えて、今年度はZoomのアバター機能も使って、互いのアバターキャラクターを設定してのバーチャルな交流も交えての楽しい交流となったようです。



### 4 今週の名言・・・高橋慶一郎の言葉です。

**物事をまっすぐにとらえ、素直、健全に行動すること。それが成功への最短距離になる。複雑なことほど単純に考え、単純なことほどじっくり考えよう。**

【解説】ユニ・チャーム創業者・高原慶一郎氏の言葉です。物事をうまくいかせるためには、その問題の本質がどこにあるのかを正しく見極めた上で、それを一生懸命に追求していくことにつきます。いくら頑張っても、そこが問題の本質とかけ離れたところであれば、大した成果が見られることはありません。努力が全く違う方向に向いてしまっただけで、高橋氏の言葉は、どのようにすればその問題の本質を見つけられるのか、そして、どのように対処したらいいかを見事に教えてくれています。

【高橋慶一郎について】1931年、愛媛県川之江市（現四国中央市）生まれ。1953年、大阪市立大学商学部を卒業後、関西紙業に入社。1961年、大成化工（現ユニ・チャーム）を設立、代表取締役社長に就任。同社を生理用品や紙オムツなどの分野でトップシェアを持つ優良企業に育て上げる。1985年、東証一部上場。2011年より取締役ファウンダー。日本経済団体連合会起業創造委員会共同委員長、四国経済連合会副会長など公職多数。2004年秋、旭日重光章を受章（参考：「Wikipedia」より）

### 5 今週の話成語・・・「先憂後楽」 【問題】英語で表現すると？

常に民に先立って国のことを心配し、民が楽しんだ後に自分が楽しむこと。北宋の忠臣范仲淹は「先憂後楽」が為政者の心得を述べた言葉。転じて、先に苦勞・苦難を体験した者は、後に安楽になれるということ。（出典：より）

【由来】「先憂」は、「先に憂（うれ）う」と訓読でき、民衆よりも先に国のことを心配するべきであることを言っています。問題が大きくなる前に気づき、処理することは大切ですね。「後楽」は、「後に楽しむ」という意味です。民衆が楽しんだ後で、自らも楽しむということです。ある政策がうまくいったとしても、その恩恵を受けるのは民衆が先で、その後が政治家であるべきだと示唆しています。この言葉は、江戸時代の日本でも好まれました。東京ドームがある「後樂園」や、岡山の日本庭園「後樂園」は、先憂後楽が由来となっています。

### 6 入試によく出る漢字(その66)・・・九州大学(2013年度入試)に挑戦！

- (1) 可視・不可視の双方の領域をホウセツして形成される。
- (2) 直情ケイコウが
- (3) 他領域のカンショウをあまり受けずに
- (4) 世間一般の宗教的ジョウソウと衝突したり
- (5) ユウカン階級への経済的寄生を脱して
- (6) 言葉の起源の問題をアツカウことはできない。
- (7) 人類にきわめてフヘン的な思想の起源をつきとめる。
- (8) 内的持続の喪失が、失語症という形をとって表われるのは、そのドラマティックなレイショウである。
- (9) 働いている力そのものをスいあげることにほかならない。
- (10) 言葉の破壊者のような相貌をオびて登場してきたのは、

## 7 今週の一冊・・・内田樹の『複雑化の教育論』(東洋館出版社)です。

**教育とは何か？成熟とはどのような過程なのか？子どもたちに何を手渡すのか？教育を支えるすべての人に贈る希望の書。**

(参考：本書裏表紙説明より)



教育とは何か？  
成熟とはどのような過程なのか？  
子どもたちに何を手渡すのか？  
教育を支えるすべての人に贈る希望の書

本書は子どもたちの成長を支えるための本です。  
これまで「子どもたちの成熟」といふ言葉を何度も使ってきました。みなさん「何をいっていいかわからない」と思っているのと同じく、私も「何をいっていいかわからない」と思っています。  
―――の考えを「成熟」といふ言葉で表現しています。(p.10)

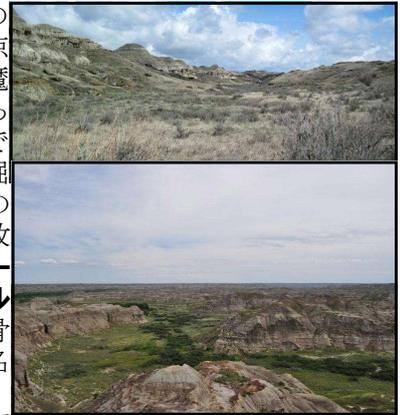
【解説】 第3号 (vol103号) で紹介した『戦後民主主義に僕から一票』の著者・内田樹氏の最新刊を図書館で見つけ、読んでみました。内田氏の文章は教科書や模擬試験、入試問題でもよく見かける作家の一人です。高校生が読んでおくべき作家の一人です。この著書は、内田氏が新たなシリーズ「越境する教育」の刊行を2022年よりスタートさせ、その第一弾として昨年1月に刊行されたものです。教員志望者の減少、不登校問題、問題視される教師の働き方、いじめ問題、見直される部活動、オンライン授業等、まさに現在の教育現場の抱える問題を大学で授業をされている立場も踏まえた教育論が熱く語られています。これからの教育現場で考えていかなければならない視点、これまでの教育を真摯に見直すべき視点も語られていますので、中には耳の痛い論説もありますが、教育学部を志す諸君、現場で悪戦苦闘されている先生方には読んでおいてほしいお薦めの一冊です。

【作者・内田樹について】 思想家・武道家、神戸女学院大学名誉教授、凱風館館長。1950年東京生まれ。専門はフランス現代思想、教育論、武道論、映画論など。東京大学文学部仏文科卒業。東京都立大学院人文科学研究科博士課程中退。主な受賞歴として、『私家版・ユダヤ文化論』(文春新書)で第6回小林秀雄賞、『日本辺境論』(新潮新書)で2010年新書大賞、第3回伊丹十三賞などがある。教育に関する主な著書は、『街場の教育論』(ミシマ社)、『先生はえらい』(ちくまプリマー新書)、『下流志向』(講談社)など多数。(参考：本書著者紹介文より)

## 8 世界遺産を巡る・・・第91回は恐竜州立公園(ダイナソール州立公園)(カナダ)

(登録：1979年)

【解説】 7千万年前の地層がむき出しになっている恐竜州立公園(ダイナソール州立公園)はカナダのアルバータ州にある世界遺産です。名前にもあるように、世界最大級の恐竜化石層があることで知られています。かつては植物が生い茂る土地でしたが、荒涼とした地であることから「バッドランド」と呼ばれてきました。奇妙な形をした岩は、魔術などの意味を持つブードゥーがなまり、フドゥーと呼ばれます。この地の先住民たちは、巨人が奇岩と化したと信じていたそうです。発見された恐竜の化石数が世界最多であるこの地で初めて恐竜の化石が発見されたのは1884年。その直後に本格的な発掘が始まり、恐竜の王者といわれるティラノサウルスをはじめ、三本角のトリケラトプス、この地域固有のアルバートサウルスなど多彩な化石が発見されました。1955年、カナダ政府は周辺一帯を州立公園に指定し、ギリシア語の「恐るべきトカゲ」に由来するダイナソールと名付けました。発見された化石は、バッドランド近郊のドラムヘラーにあるティレル古生物博物館本館と、公園内にある別館で展示されています。特に35体もの恐竜の骨格を展示する本館は、世界的に有名です。また、数多くのSF映画のロケ地としても有名です。(参考：「世界遺産人気ランキング」より)



## 9 街角グルメを訪ねて・・・第91回は鹿島市の「グランシャリオ」です。

年末に太良の道の駅「たらふく館」に太良みかんを買いに出かけた時に途中で立ち寄ったお店です。鹿島の人には人気のお店のお昼時は一杯でした。鹿島から太良方面へ向かうバイパスの途中で市内方面へ一本入った道の右側にあります。住所をナビで入力して行かれることをお勧めします。この日は「日替わりランチ」(880円)「ハンバーグランチ」(880円)「スパゲッティランチ」(880円)を注文。「日替わりランチ」は1か月間毎日全てメニューが変えてあり、この日は「牛挽肉とポテトのカレーコロッケ」でした。水曜日が定休日、土日も日替わりランチが注文できます。他に「ステーキランチ」(1400円)や「いちごパフェ」・「イチゴシェーキ」も美味しかったです。味は文句なしですが、量的には少な目で女性向き。男性には少し足りないと感じるかもしれません。住所は、鹿島市古枝542-1です。駐車スペースは十分にあります。



## 10 保護者の皆様へ・・・清香奨学会の奨学生(給付)を募集。

県内の大学進学者を対象とした「清香奨学会」の奨学金のご案内をします。一般財団法人「清香奨学会」とは、御船山の麓、武雄競輪場の前にある「如蘭塾」に事務局を置く財団で、鹿島市出身の野中忠太氏が日中の架け橋となる私塾「如蘭塾」を現在の地に建て、日中友好に多大な貢献を果たしてきた歴史ある財団です。昭和27年から始まった奨学金事業は、現在は佐賀県出身で佐賀県内の大学に進学した学生を対象に返済不要の奨学金月額3万円を最長6年間給付する制度になっています。競輪場や梅林・ゆめタウンの道路を隔てた広大な駐車場等の土地を保有し、その賃料が財源となっています。応募は大学進学後すぐに募集となりますので、佐賀大学・西九州大学に進学する3年生は忘れずに是非応募してください。

【英語】◇ worrying before one's people worry ◇ enjoying oneself only after one's people have enjoyed themselves (a precept to be observed by a ruler)

【正解】(1) 包摂 (2) 径行 (3) 干渉 (4) 情操 (5) 有関  
(6) 扱う (7) 普遍 (8) 例証 (9) 吸い (10) 帯びて

2023年度  
**奨学生募集**

賞 2.2  
4月~5月

あなたのやる気を応援します!

21. 年度！ 内の大学への進学を考えているみなさんへ

清香奨学会